

## タウンピックアップ



▲田淵局長（左）に要望書を手渡す中川市長

### 鶴野飛行場跡地、防衛省に払い下げを要望

加西市は3月4日、鶴野飛行場跡地（防衛省鶴野訓練所）に関して、所管する防衛省近畿中部防衛局の田淵真二局長に払い下げを求める要望書を提出しました。

鶴野飛行場は、優秀なパイロットを養成するため、旧日本海軍が昭和18年に完成させた飛行場で姫路航空隊の基地が置かれました。長さ1,200mの滑走路跡は、戦後65年間、ほとんど利用されることがなく、市は4年越しで払い下げ交渉を進めてきました。平成19年からは利用計画の作成に向けて、活用アイデアの募集や地域住民との勉強会、隣接する神戸大学農学部や企業と意見交換を重ねてきました。

### 「ふるさとの森づくり in 鎮岩工業団地」植樹祭

加西市は2月11日、昨年10月に完成した三洋電機加西事業所「加西グリーンエナジーパーク」（鎮岩町）南側の市道周辺で植樹祭を開催しました。

これは、鎮岩工業団地内の市道整備に合わせて環境保護への理解を深めようと、世界各国で緑化事業に取り組まれている、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生をお招きして実施したものです。

参加者300人は24グループに分かれ、宮脇先生の指導を受けながら、市道約350mの両側にシラカシやアラカシなど54種類の苗木約7,300本を植樹しました。



▲参加者は24グループに分かれ一本ずつ丁寧に苗木を植樹



▲参加者に料理の説明をするコルピシェフ（中央）

### 「ひょうご雪姫ポーク」を美味しくアレンジ

兵庫県立フラワーセンター内のレストランフルーリーで2月27日、「ひょうご雪姫ポークが輝くレシピ in 加西」を開催し、市内の飲食店経営者や料理人など14名が参加しました。

これは、加西市が昨年からの総務省の地域力創造アドバイザー事業で、食総合プロデューサー金丸弘美さんの指導のもと、地域の資源を活かした特産品をつくる取り組みの一環です。当日は、講師として大阪で一つ星を持つ「居酒屋ながほり」の中村重男さんと「ホテルニューオータニ大阪」の前総料理長ドミニク・コルピさんを招き料理の実演を含め、ひょうご雪姫ポークの様々な部位を使い、肉本来の美味しさを引き出す方法を学びました。

### 夢の列車のヘッドマークをデザイン

架空の列車のヘッドマークのデザインを募集した、北条鉄道「ヘッドマークグランプリ（H-1）」の最優秀賞の発表が3月21日、同列車内で行われ右の作品が受賞しました。

応募総数167作品、審査委員はドラマ「相棒」の俳優・六角精児さんや、加西市出身のデザイナー・北川一成さん。このコンテストは鉄道活性化のため関西学院大学の学生の提案で実現しました。



■子供部門最優秀作品  
「おサル駅長号」  
阪田彩水さん（北条東小6年）



■大人部門最優秀作品  
「西遊号」  
藤田八太郎さん（小野市）

### すべての人にやさしく「みんなの福祉フェスタ」

すべての人にやさしい加西市を目指そうと3月13日、アステシアかさい3階で、加西市障害者（児）相談支援センターやすぎ主催「みんなの福祉フェスタ」が開催されました。

市内10箇所の障害者施設などがバザーに出店し、活動紹介も行いました。また、ひまわりっクラブ和太鼓演奏等も行われ、会場では終日、障害のあるなしに関わらない交流の様子が見られました。



▲バザーでは授産製品・お菓子などの手作り製品を販売



▲「まち並みひな祭りめぐり」を楽しむ園児たち

### 北条のまち並みで、思い出のひな祭りめぐり

北条町北条地区の民家など15か所の縁側や玄関に、家庭に眠る思い出のひな人形が飾られました。

住民同士の交流を深めようと、NPO法人まちづくり北条（松本正光代表）が呼びかけ、今年で3回目の開催。昨年より6か所多い展示で、まちなかでの協力の輪が広がっています。

2月21日には、北条幼稚園と北条東幼稚園の園児たち計82人が訪問。「きれい、かわいい」と歓声を上げ、華やかなひな祭りを興味深そうに眺めていました。

### 宇仁幼稚園で、和やか「ひなまつりかい」

宇仁幼稚園で3月3日、日頃お世話になっている子育て支援ボランティアの方々や保護者を招いた「ひなまつりかい」が行われました。

ゲストとして、神戸市出身の人気シンガーソングライター石田裕之さんが、ギター演奏と爽やかな歌を披露。また、お雛様や、ひし餅姿に扮した善防公民館子育て学習センターの「みつばちマザーズ」の皆さんが、ハンドベルを使った美しい音色で、ひな祭りの曲などを奏でました。会場の約80人は、ひな祭りを通して世代を超えた地域の交流を深めました。



▲園児らも石田さんと一緒に、手話を交えた曲を披露



▲左から常峰さん、中本さん、山田さん

### 「播州歌舞伎」継承保存の努力を称えて

加西市は2月24日、播磨農業高等学校3年の3名に「市長感謝状」をお贈りしました。

■中本千香子さん  
山田沙恵さん  
常峰千絵さん

3年間、同校の郷土伝統文化継承クラブに在籍し、勉学の傍ら、加西市発祥である播州歌舞伎の継承保存に努力されました。

### 市長感謝状

加西市は3月17日、次の方に「市長感謝状」をお贈りしました。

■仲田五郎さん（満久町）

亡父（故仲田忠雄氏）の遺志を受け、高齢者福祉のために使って欲しいと地域福祉基金に金500万円を寄付されました。

仲田五郎さん▶

